

2022 5/24

No.2163

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



「第70回ザよこはまパレード(国際仮装行列)」が3日、3年ぶりに横浜市中区で開催された。山下公園前を起点に50団体、約2千人が練り歩いた。



政経かながわ

2022 5/24 No.2163

contents

視点点描	3
楽しみな球児たちの夏	
講演録	4
家族で目指した甲子園 ～渡邊家の娘に生まれて 元横浜高校野球部寮母 渡邊 元美	
デモクラシーの現場から	8
迫る参院選、政権運営を問われる岸田首相	
政治双眼鏡	10
政治の“核”となる使命 岸田政権発足から半年	
経済双眼鏡	11
黒田総裁のこだわり 円安はプラスか？	
企業最前線	12
大人がけん引、カプセルトイ市場 大規模専門店など出店ラッシュ	
暮らし2022	14
空気感染対策の徹底を	
かながわTODAY	16
4月の主な経済ニュース	
神奈川景気データファイル	18

事務局だより

◇2022年6月の定例講演会
6月16日（木）午前10時～
11時20分

ロイヤルホールヨコハマ4階
「エリゼの間」

講師：デジタル大臣 牧島
かれん氏

演題：「日本のデジタル政策
について」

◇2021年度決算総会

6月16日（木）午前11時30
分～12時

ロイヤルホールヨコハマ4階
「エリゼの間」

◇2022年7月の定例講演会
7月22日（金）午後1時30分
～3時

ベイシェラトンホテル＆タ
ワーズ5階「日輪」

講師：横浜市長 山中 竹春
氏

演題：未定

※定例講演会は、急な閣議な
どの公務や新型コロナの感染
拡大の状況によって延期する
場合があります。

【新規会員】（18日現在）

・大樹生命保険株式会社（22年5
月）

・明治安田生命保険相互会社（同）

・株式会社富士防（同）

視点 点描



楽しみな球児たちの夏

今年は高校野球が面白い年になりそうだ。

春の県大会は桐光学園と桐蔭学園の決勝となり、桐光が頂点に立った。桐光の優勝は12年振りで、両校の決勝は9年振り。ともに実力校ではあるが久しぶりの優勝争いで、目を引くのはその勝ち上がり方だ。

準々決勝で桐光は横浜を、桐蔭は東海大相模をそれぞれ破つてきた。特に東海大相模は、県内の公式戦で敗れたのは2018年の秋季大会以来で、実に60試合ぶり。このところ神奈川の高校野球を引っ張ってきた東海大相模と横浜が、それぞれ若手の監督に代わったこともあり、そろって夏は挑戦

者となる。各校のつばぜり合いが激しくなるだろう。かつての法政二、東海大相模、横浜のように、ハイレベルの神奈川でもまれ、ライバルを制して令和に一時代を築く学校の第一歩を見ることができ、かもしれない。

また、ベスト4に横浜商（Y校）と藤沢清流の2校が残り、公立校の躍進が目立つのも今年のトピックスだ。春季大会で準決勝に2校の公立が進出したのは2015年以来と久しぶりのこと。横浜市立のY校は全国的にも名前が知られる名門だが、県立の藤沢清流もプロ注目左腕の木島選手を中心に、好打者をそろえた大型チーム。トーナメントの大会では複数投手をそろえられる私学が当然有利だが、力勝負を挑む公立校の存在は、やはり本番の夏を盛り上げるはずだ。

今年の高校3年生は、ちょうど

入学式の時期から新型コロナウイルスの影響があった世代。学校によつては長い休校期間があり、日々の学校生活や部活動だけでなく、大会そのものが無くなるなど不自由を強いられてきた。

春の大会も準々決勝を横浜商大が、地区予選は複数の学校が出場辞退となっており、まだまだ感染状況は予断を許さない。それでも、準々決勝から一般にもスタンドが開放され、学校のバスバンドなども入って球場には以前のにぎわいが戻りつつある。生徒、先生、観客らそれぞれが感染対策に伴う不便を受け入れ、大会は開催されている。部活動ができる喜びを関係者はかみしめているはずだ。私たちも節度有る生活を送りながら、球児の夏を楽しみに待ちたい。（神奈川新聞社編集委員兼論説委員

和城 信行）